

Indonesia Weekly

2020年5月18日

(対象期間：2020/5/11～2020/5/15)

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2020年5月15日)

【株式市場】

インドネシア株式市場は下落しました。週初は、前週末の海外市場でリスク選好の流れとなったことを好感して上昇しましたが、その後、各国で感染第2波への懸念が高まっていることなどを背景に下落しました。セクター別では、経済活動が低迷する中で、ローン引当金の増加の可能性など、大手銀行の収益見通しの懸念が高まったため、特に銀行株が大幅下落となりました。一方、予想より好調な決算を好感したタコ株などは上昇しました。

2020/5/8	2020/5/15	変化率
4,597.43	4,507.61	-1.95%

【債券市場】インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2020年5月15日)

【債券市場】

インドネシア10年国債の利回りは低下（価格は上昇）しました。5月12日に行われた国債入札は21日からのラマダン明け休暇を前にして、今後2週間にわたり国債入札が行われないことなどから好調となりました。発行額は当初発行予定額の20兆ルピアとなりました。満額の発行となったため追加入札は中止となりました。入札後の流通市場でも需要は旺盛で、利回りは週を通じて低下しました。

2020/5/8	2020/5/15	変化幅
8.102	7.785	-0.317

【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2020年5月15日)

【為替市場】

ルピアは対米ドル、対円ともに上昇しました。新型コロナを巡り、経済活動の再開への期待や感染拡大へのリスクを背景に市場心理が揺れる中で、ルピアは債券市場への海外投資家の資金流入などを背景に上昇しました。15日に発表された4月の貿易収支は、3.4億ドルの赤字となり、3か月ぶりの赤字となりました。新型コロナ感染拡大による経済活動の低迷で、輸出が前年比7%減となったことが要因でした。しかし、市場への影響は限定的でした。

2020/5/8	2020/5/15	変化率
0.7113	0.7181	+0.96%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシユアランス社とは関係がありません。